

インスリンポンプ・持続グルコース測定器は 磁気の影響を受ける可能性があります。 検査前に必ず取り外しをお願いいたします。

インスリンポンプ

ミニメド
620G/640G/770G/780G
インスリンポンプ
日本メドトロニック(株)



パラダイムインスリンポンプ
712/722
日本メドトロニック(株)



メディセーフウィズスマート
テルモ(株)



TOP-8200
(株)トップ



持続グルコース測定器 (CGM)

ミニメド770G/780Gトランスミッタ
ガーディアン4トランスミッタ
日本メドトロニック(株)



Dexcom G6 CGMシステム
Dexcom G7 CGMシステム
デクスコムジャパン(合)



FreeStyle リブレ2センサー
アボットジャパン(合)



取り外しが必要なもの

療法	製品名	装着・携帯しているもの	X線	CT	MRI
インスリンポンプ	ミニメド620G/640G/770G/780Gインスリンポンプ パラダイムインスリンポンプ712/722	注入セット	必要なし	必要なし	必要なし
		ポンプ本体	必要	必要	必要
	メディセーフウィズスマート TOP-8200	注入セット(パッチ) ポンプ	必要	必要	必要
		注入セット ポンプ本体	必要なし	必要なし	必要
CGM	ミニメド770G/780Gトランスミッタ ガーディアン4トランスミッタ	トランスミッタ	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
	Dexcom G6 CGMシステム Dexcom G7 CGMシステム	トランスミッタ	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
	FreeStyle リブレ2センサー	センサー	必要	必要	必要

各製品の使用方法については各社コールセンターまでお問い合わせください。

日本メドトロニック株式会社 日本メドトロニック24時間サポートライン TEL:0120-56-32-56 受付時間 24時間365日受付

テルモ株式会社 テルモ・コールセンター TEL:0120-84-1214 インスリンポンプ専用 24時間365日受付

デクスコムジャパン合同会社 テクニカルサポートセンター TEL:0800-000-8019 受付時間【平日】8:00-20:00、【土曜・祝日】8:00-17:00(日曜、祝日が重なる土曜、弊社指定休業日を除く)
製品サポートリクエスト https://dexcom-intl-jp.custhelp.com/app/support_request/

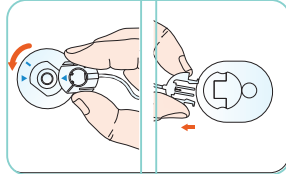
株式会社トップ TEL:0120-74-5510 24時間365日受付

アボットジャパン合同会社 お客様相談窓口:0120-37-8055 受付時間:【月曜～金曜】8:00-20:00、【祝日】8:00-17:00
お客様相談窓口メールアドレス(常時受付):adc-cs.jp@abbott.com

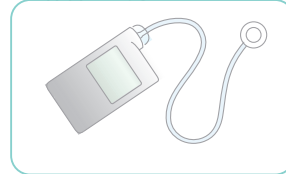
取り外し方法

インスリンポンプ

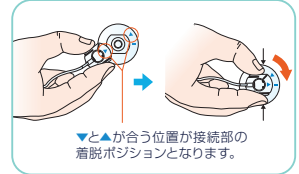
ミニメド620G/640G/770G/780G
インスリンポンプ
パラダイムインスリンポンプ712/722



① 注入セットからチューブを取り外します。



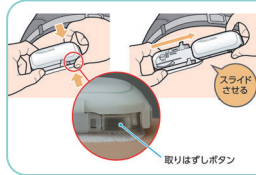
② ポンプとチューブを体から取り外し、清潔な場所に保管します。



③ 検査後、再びチューブを取り付けます。

▼と▲が合う位置が接続部の着脱ポジションとなります。

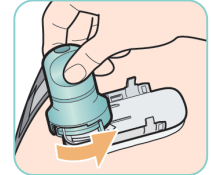
メディセーフウィズスマート



① ポンプをパッチから取り外した後、パッチを体からはがします。

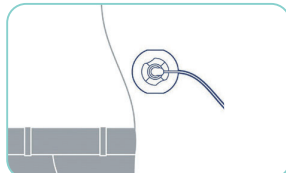


② ポンプを清潔な場所に保管します。

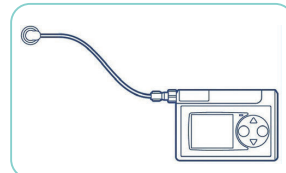


③ 検査後、新しいパッチを取り付けます。

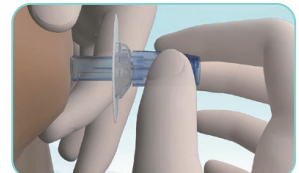
TOP-8200



① 注入セットを身体から取り外します。



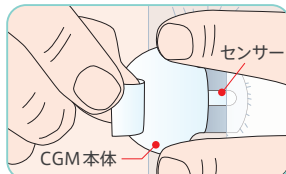
② ポンプを体から取り外し、保管します。



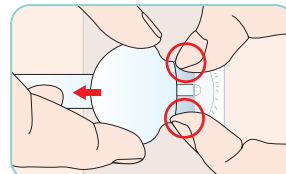
③ 検査後、新しい注入セットを取り付けます。

持続グルコース測定器 (CGM)

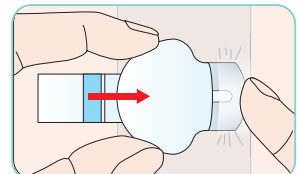
ミニメド770G/780Gトランスミッタ
ガーディアン4トランスミッタ



① 粘着タブをCGM本体から慎重に外します。

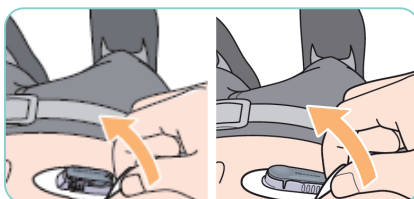
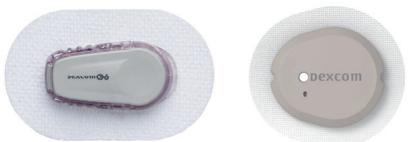


② センサーからCGM本体を取り外した後、センサーをそっとはがします。



③ 検査後、新しいセンサーを装着し、CGM本体をセンサーに取り付けます。

Dexcom G6 CGMシステム
Dexcom G7 CGMシステム



G6: トランスミッターが付いたままの状態、粘着テープを皮膚からはがします。
G7: 絆創膏のように粘膜/パッチをはがします。

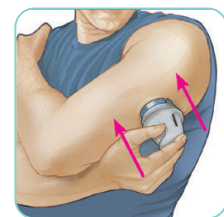
FreeStyle リブレ2センサー

【注意】

- ※ センサーには装着期間中の測定データが保存されています。取り外したセンサーの取り扱いについては、かかりつけの医療機関にご相談ください。
- ※ 新しいセンサーの装着についても、かかりつけの医療機関にご相談ください。



① センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。



② 検査後、新しいセンサーを装着し、起動します。